

## IV 教育施策の具体的実施状況

### 1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現 [生涯学習の充実]

(1) 生涯学習推進体制の充実

(2) 県民の学習ニーズに応える学習機会の充実

担当課：生涯学習振興課



# 1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現

## (1) 基本方向

わが国における本格的な人口減少社会の到来、産業構造・就業構造の変化、グローバル化・情報化等の一層の進展、人々の支えあいと活力ある社会の構築等、社会環境の変化には著しいものがあり、人々のニーズは、ますます多様化・高度化している。

このような状況の中、生涯学習・社会教育の分野においては、今後、特に、個人が自立し、また、自らを律し、他と協調しながら、その生涯を切り拓いていく力を身に付けるとともに、それを地域社会全体の力に結びつけていくことが求められており、学習活動を通じて、地域住民等との「絆」を築き、互いに学び合い、交流し、能力等を高め合うことのできるような「地域の力」を引き出し、具体的な実践につなげていくことの重要性が増している。

そのため、第三次沖縄県生涯学習推進計画に基づき「人づくり、地域づくり」に取り組み「潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現」に向け、生涯学習振興のための諸施策を推進する。

## (2) 指標

「矢印」前年度からの傾向 「/」事業設定なし 「—」数値未発表・未確定 「頁」関連事業案内 「◎」目標値達成指標

成果指標：該当頁	単	H25	H26	H27	H28	H29	目標値 H33
生涯学習推進体制組織の設置率：P8	%	↗ 63	↗ 66	↗ 71	↘ 70	↗ 72	80
市町村における社会教育主事配置率：P8	%	→ 37	↗ 41.5	↘ 39	↗ 51.2	↘ 48.8	55
県・市町村の講座の修了者数：P10	人	↘ 104,216	↘ 100,028	↗ 128,608	↗ 161,170	↗ 167,674	130,000 ◎
情報プラザへのアクセス数：P10	件	↘ 35,003	↘ 26,223	↗ 31,500	↗ 42,083	↗ 43,979	42,000 ◎

活動指標：該当頁	単	H25	H26	H27	H28	H29	目標値 H33
生涯学習審議会の開催数：P8	回	→ 0	→ 0	↗ 2	→ 2	↗ 4	5
県生涯学習推進本部の開催数：P8	回	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	→ 2	3
社会教育主事講習受講者数(沖縄会場)：P8・11	人	↘ 17	→ 17	↘ 16	↗ 20	↘ 12	20
おきなわ県民カレッジ主催講座数：P10	講	↘ 17	↘ 16	→ 16	↗ 36	↗ 37	30 ◎
おきなわ県民カレッジ連携講座数：P10	件	↘ 1,111	↘ 1,000	↗ 1,251	↘ 1,243	↗ 1,278	1,300 ◎
生涯学習情報の登録数：P10	件	↗ 22,244	↗ 22,456	↗ 23,169	↗ 24,282	↗ 25,253	25,000 ◎
情報提供機関数：P10	件	↗ 143	↗ 164	↗ 170	↗ 185	↗ 190	185 ◎

## おきなわ県民カレッジ

### ■主催講座（沖縄県教育委員会が主催する講座）

### □美ら島沖縄学講座（教育庁生涯学習振興課が企画・運営する講座等）



第2回講座【お墓と琉球王権の王宮・王陵は意外な関係】



第5回講座【史料でみる沖縄の歴史 その2 沖縄の戦前・戦後】

Live配信③：サテライト会場（各教育事務所）



第6回講座 離島講座in竹富町（西表島）

【ヘルスプロモーションの視点で捉える  
子どもたちの健康・体力と学力】



第8回講座 離島講座in伊是名村

【沖縄のヒメカンについて】



第9回講座 【沖縄の名前のはなし】

Live配信⑤：サテライト会場（各教育事務所）



第10回講座【琉球の城を歩く～in座喜味城～】



□広域学習サービス講座（各教育事務所が運営する講座）



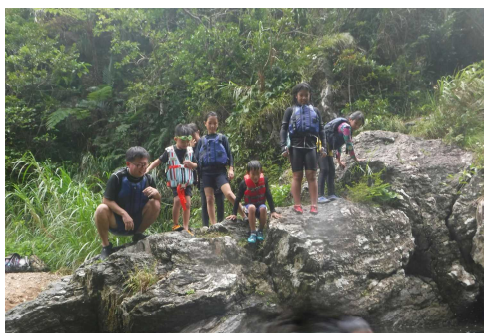
◇国頭教育事務所

【イマドキ★スイーツ お菓子屋さんのスイーツ教室】



◇中頭教育事務所

【ウエルカムんちゅになろう！多言語講座】



◇那覇教育事務所

【野外フィールドワーク～アウトドアを楽しもう～】



◇島尻教育事務所

【島尻は一つ『花と食でつながる地域づくり』】



◇宮古教育事務所

【人頭税廃止を巡る宮古島の陰の立役者達】



◇八重山教育事務所

【やいま 再発見！島素材の活用（薬膳料理作り）】

□学校開放講座（県立学校が実施する講座）



◇名護商工高等学校

【名護地域ガイドツアー】



(3) 各事業の点検・評価

施 策 目	事 業 名	内 容	P l a n (計 画)	D o (実 施)
① 生涯学習推進体制の充実	ア 生涯学習推進体制の整備 【担当課】生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】5-(2)-イ 【決算額】833千円 【進捗状況】順調	■「沖縄県生涯学習審議会」「沖縄県生涯学習推進本部」を定期的に開催する。 ■市町村の生涯学習推進体制状況を把握するとともに生涯学習推進体制の整備を促進する。	■県内市町村教育委員会を訪問し、生涯学習の振興にむけての取組を依頼する。また生涯学習推進体制状況調査（推進本部・答申・振興計画・中心施設・教育の日・フェスティバル等の有無）を行う。 ■生涯学習審議会は4回、社会教育委員の会議は6回の開催を予定している。	■各市町村における生涯学習推進体制状況調査（推進本部・答申・振興計画・中心施設・教育の日・フェスティバル等の有無）を実施した。 ■生涯学習推進及び家庭教育の充実のため、生涯学習審議会を4回、社会教育委員の会議を6回実施した。
	イ 生涯学習指導者等養成事業 【担当課】生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】5-(2)-イ 【決算額】①292千円 ①551千円 【進捗状況】やや遅れ	■生涯学習等指導者の養成及び資質向上を図る。 ■社会教育主事となる資格を取得させるため、受講機会を提供する。	■社会教育行政関係者・社会教育関係団体・学校関係者を対象に県主催（1回）の社会教育研究大会を実施する。また、各地区（6回）においても地域のテーマに応じた社会教育研究大会を行う。 ■社会教育主事資格を取得させるため、社会教育主事講習の周知・広報を行い、社会教育主事講習九州大会会場への受講生の派遣や、社会教育主事講習[B]沖縄会場等を実施する。	■『『結いの心』でつながる地域づくり』のテーマを設定し、講演会やシンポジウムを開催した。また、4地区においては、市町村の事例報告や講演会、研究討議を開催した。 ■1月中旬～2月末までの期間に、県・市町村の社会教育・学校関係職員、社会教育施設職員を主な対象に社会教育主事となる資格を取得させるため、国立教育政策研究所社会教育実践センターが行う講習を、県生涯学習推進センターで受講機会を提供し、12人が受講した。

Check (検証)	Action (改善)
<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■体制整備市町村数（生涯学習に関連する計画を策定している市町村）は、計画値40市町村に対し、実績値が41市町村と順調に推進できた。（H29生涯学習推進体制状況調査）</li> <li>■生涯学習審議会（4回）を開催し、「青少年の健全育成を目指した学校と地域の連携・協働の推進に当たって」の第三次提言（最終）を手交した。</li> <li>■社会教育委員の会議（6回）を開催し、「家～なれ～」運動の普及発展に向けた意見をまとめ、教育長へ手交した。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■離島を含めた各市町村訪問を継続的に実施して、推進本部の設置等の生涯学習推進に関する取組の実施について働きかける必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生涯学習推進体制状況調査の結果を元に、離島未訪問教育委員会をはじめ、引き続き各市町村訪問を実施して、生涯学習推進に向けた情報交換と協議を行う。その際、人員不足による推進本部未設置地区においては、他組織の効果的な兼用について意見交換を行う。</li> <li>■各市町村における活性化の取組として「ウェブサイト」の活用方法について広報し、生涯学習推進体制整備の支援を図る。</li> </ul>
<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■県社会教育研究大会は、『『結いの心』でつながる地域づくり』と題して講演会を行った。また今年度から新たに分科会を設定し、各地区の事例報告を行うなど、大会を充実させることができた。</li> <li>■4地区においては各地のニーズに対して、社会教育での取組の実践事例の報告を行うことにより、情報の共有が図られた。</li> <li>■講習会参加人数は、計画値20人に対し、実績値が12人となり、進捗状況はやや遅れとなった。要因は社会教育主事講習の見直しのため（新制度が32年度実施）市町村からの受講希望者が減少したためである。しかし、社会教育主事が発令されていない市町村から3人が受講し、有資格者が増えることで市町村の社会教育行政が充実し、これまでの実績と合わせて、市町村において学校と地域の連携・協働が図れつつある。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育の実施体制において、地域ニーズの状況に応じた情報収集やコーディネート力が必要である。また、多様な課題に対応するため、ワークショップや分科会の実施を検討する。</li> <li>■平成22年度社会教育主事講習【B】沖縄会場の実施から県内社会教育主事有資格者数は市町村の教育委員会内で、平成22年度の33人から平成29年度69人へ大幅に増加している。また、社会教育主事配置市町村数も平成24年度の15市町村から平成29年度20市町村へ年々わずかに増加している。更なる向上として、市町村教育委員会への周知の徹底やNPO団体、社会教育施設職員等へも社会教育主事講習の周知・広報を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各地区事務局と連携を強化し、県内の社会教育における事例について情報を収集する。また先行事例においては、県外大会へ派遣を行うことで情報を収集し、県内での共有を図る。</li> <li>■研修が未実施の地区に対しては、重点的に指導・助言を行う。</li> <li>■毎年社会教育主事配置状況調査を実施し、社会教育主事が置かれていない市町村に対しては社会教育主事講習について早めに周知・広報を行う。また、以前、社会教育主事を発令していた市町村に対しては、訪問を行う等、講習への積極的な職員派遣を促す。社会教育主事講習等規定の一部改正について周知・広報し、移行期間における分割受講につなげる。</li> <li>■社会教育主事及び社会教育主事有資格者の資質向上を図るための研修を行う。</li> </ul>

施 策 目	事 業 名	内 容	P l a n (計 画)	D o (実 施)
② 県 民 の 学 習 ニ ー ズ に 応 え る 学 習 機 会 の 充 実	ア おきなわ県 民カレッジ  【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 5-(2)-イ 【決算額】 5,164千円 【進捗状況】 順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国・県・市町村及び大学等で実施している生涯学習に関する連携講座の拡充を図る。</li> <li>■県民に学習機会を広域的・効果的に提供する。</li> <li>■学習成果を適正に評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多様化・高度化する県民の学習ニーズに対応し、本県の特徴ある歴史・文化・自然等の魅力ある講座、現代的・社会的課題に対応した講座を開設する。</li> <li>■関係機関との連携を図り、学習機会の充実を目指す。</li> <li>■遠隔講義配信システムを活用し、ネット環境の整っている離島及び遠隔地へライブ配信講座を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■県民の学習ニーズに対応するため、沖縄の自然・歴史・文化等をテーマとした美ら島沖縄学講座を11講座、広域学習サービス講座を25講座、学校開放講座を1講座実施し、国、県、市町村等との連携講座を1,278講座実施した。主催37講座を1,485人が受講した。</li> </ul>
	イ 沖縄県生涯 学習情報提供シ ステム（生涯学 習情報プラザ）  【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 5-(2)-イ 【決算額】 810千円 【進捗状況】 順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国・県・市町村や高等教育機関・民間事業者等が持っている生涯学習に関する情報を収集、体系化し、県民へ提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■県民の学習機会の拡充を図るため、生涯学習情報提供システムを活用して市町村及び高等教育機関等の生涯学習情報を配信する。なお、効果的な配信に向け各関係機関担当者に対する説明会を2回実施する。</li> <li>■システムの整備・充実に向け定期的に調整会議を4回開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育関係機関や団体等が持っている生涯学習に関する情報を収集し、ウェブサイト「沖縄県生涯学習情報プラザ」を通して、県民へ生涯学習情報を提供した。また、システム入力説明会を2回開催したところ、前年を上回る190件の情報提供機関が生涯学習情報の登録を行った。</li> </ul>
	ウ 遠隔講義配信 システム 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 5-(2)-イ 【決算額】 4,601千円 【進捗状況】 順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>■県民の学習機会の拡充を図るため、インターネットにより、おきなわ県民カレッジ主催講座等を離島遠隔地をはじめ全県へ配信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■離島などの地理的要因や個々の経済的・時間的制約に左右されない公平な学習機会を整備するため、おきなわ県民カレッジにおける講座等を遠隔講義配信システムを活用し配信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■おきなわ県民カレッジにおける主催講座のライブ配信を5回行い、サテライト会場及び個人パソコンにおける講座受講者数は延べ254人となった。</li> <li>■沖縄県及び沖縄県教育委員会等が主催する講演会や講座等を取材録画し、オンデマンド教材として33本制作し、配信した。</li> </ul>



Check (検証)	Action (改善)
<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県民の学習ニーズに対応した講座や生活課題をテーマにした講座を開設し、おきなわ県民カレッジ主催講座を計画値30講座に対し37講座実施した。受講者数は計画値1,100人に対し1,485人と順調に増加している。学習の評価として、16名が奨励賞を受賞した。</li> <li>■ 遠隔講義配信システムを活用し、学習講座等の開設が厳しい離島、遠隔地へ県民カレッジ5講座をライブ配信することができた。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国、県、市町村、高等教育機関及び各種関係団体との連携を強化し、県民への学習情報の提供を拡大する必要がある。</li> <li>■ 学習情報、学習機会の提供については、生涯学習推進センターのホームページ「生涯学習情報プラザ」が県民への窓口となっているので、「生涯学習情報プラザ」の利用方法等周知を図る必要がある。</li> <li>■ 受講者が学んだ成果を地域づくり等に生かしていくために、県民カレッジ学習者の人材活用を進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ おきなわ県民カレッジの入学数・受講者数増に向けて、国、県、市町村、各関係機関と連携しおきなわ県民カレッジ事業の周知を図る。</li> <li>■ 学習機会の少ない離島、遠隔地での講座を計画し、各教育事務所や市町村の担当課と連携して充実した講座を開催していく。</li> <li>■ 生涯学習情報プラザの指導者・講師情報への登録を促進し、市町村担当課への周知を図る。</li> </ul>
<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者及び有識者(運用委託業者含む)の意見等をもとにウェブサイトの改修を行った。効果として、HPアクセス数は43,979件、生涯学習情報登録数は25,253件で、それぞれ前年と比較して増加しており、順調に取組を推進し、県民の多様化する学習ニーズに応えることができた。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各市町村の公民館、図書館などの生涯学習施設及び機関・団体との情報提供のネットワーク化に努める必要がある。情報提供者の新規開拓に努める。</li> <li>■ 離島・町村の生涯学習関係課への説明を充実させ、連携を深める必要がある。</li> <li>■ より利用しやすいシステム環境の整備に取り組むとともに、沖縄県生涯学習情報プラザの広報活動に努める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県民の学習機会の拡充のため、離島及び町村における生涯学習情報を収集し、県民への広報活動を強化する。</li> <li>■ 生涯学習情報提供の拠点として、利用者の利便性が高いシステムの再構築を進める。</li> </ul>
<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平成29年度の個人ユーザー登録数は61人、オンデマンド教材制作数は33本で順調に進捗することができた。</li> <li>■ 平成29年度オンデマンド講座視聴件数は累計で1,989件（前年度917件）で、県民の学習機会の拡充につながった。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 遠隔講義配信システムの視聴者を増やすためには、教養講座や課題解決学習のための講座等、学習ニーズの把握に努める必要がある。</li> <li>■ 各教育事務所が主催する広域サービス講座や市町村が実施する連携講座等をコンテンツとして取り入れることで、離島や遠隔地、町村における学習機会の拡充を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市町村や社会教育関係機関・団体等が行う講座等を取材録画し、オンデマンド講座として配信することにより、県民に対する学習機会の拡充を図る。</li> <li>■ 遠隔講義配信システムの広報周知を行うことにより、特別サテライト会場の開拓を図ると共に、個人ユーザーの増加を図る。</li> </ul>

■ 沖縄県生涯学習情報提供システム（沖縄県生涯学習情報プラザ）

○情報の登録数

情報内容	H27	H28	H29
講座・研修	11,453 ↗	12,880 ↗	13,937 ↗
指導者	417 ↗	409 ↘	409 →
団体	55 →	57 ↗	59 ↗
施設	492 ↗	485 ↘	485 →
視聴覚	10,509 ↘	10,207 ↘	10,119 ↘
資格免許	243 ↗	244 ↗	244 →
合計	23,169 ↗	24,282 ↗	25,253 ↗

○情報提供者数【情報提供機関数】

情報提供者種別	H27	H28	H29
管理者	15 →	19 ↗	21 ↗
県関係機関	49 ↗	55 ↗	57 ↗
市町村関係機関	82 ↗	83 ↗	84 ↗
大学等	14 →	18 ↗	18 →
視聴覚施設	10 →	10 →	10 →
合計	170 ↗	185 ↗	190 ↗

○生涯学習情報提供システムへのアクセス件数：43,979件（前年度42,083件）

■ 社会教育主事講習【B】 沖縄会場



開講式・オリエンテーション



宿泊研修（糸満青少年の家）



現地研修（那覇市立壺屋焼物博物館）



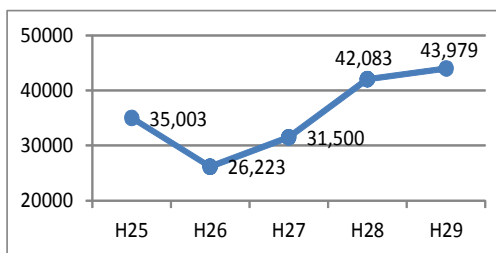
○社会教育主事講習受講者数

項目	H27	H28	H29
*国社研 [A]	0 →	1 ↗	0 ↘
*国社研 [B]	1 ↗	0 ↘	0 →
国社研 [B] 沖縄会場	16 ↘ (9)	20 ↗ (12)	12 ↘ (1)
九州大学 岡山大学	2 ↗	1 ↘	1 →
合計	19 → (9)	22 ↗ (12)	13 ↘ (1)

( ) は分割受講者数

- 注：\*国社研：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター  
 \* [A]：7月～8月に実施される社会教育主事講習  
 \* [B]：1月～2月に実施される社会教育主事講習  
 \* 「沖縄会場」は[B]をインターネットで視聴して受講

○沖縄県生涯学習情報プラザのアクセス数



■沖縄県社会教育主事専門講座



沖縄県社会教育主事専門講座 1  
(行政説明)



沖縄県社会教育主事専門講座 2  
(グループ討議)

(×E)